

現状と課題

- ・ **受発注条件の見直し** → 短いリードタイムでは輸送の効率化を図る余裕がない
- ・ **荷待ち時間の削減** → 先着順での荷卸しなどによる長い荷待ち時間
- ・ **荷役時間の削減** → バラ積みで入出荷、様々なパレットサイズ
- ・ **附帯作業時間の削減** → 事前出荷情報 (ASN) の普及が限定的で、検品作業が非効率的
- ・ **積載率・実車率の向上** → 多頻度・小ロット配送による低い積載率、
帰りの空車による低い実車率

解決の方向性

◆ 受発注条件の見直し

⇒ 適正な在庫確保や需要予測の精度向上によるリードタイムの延長

◆ 荷待ち時間の削減

⇒ 先着順から予約制への変更、時間指定の柔軟化

◆ 荷役時間の削減

⇒ バラ積み貨物のパレット化、パレットサイズ等の輸送容器の統一、パレットの共同使用

◆ 検品など附帯作業時間の削減

⇒ 前出荷情報の提供とQRコード等への情報の組み込み、ノー検品の取組みの実施

◆ 積載率・実車率の向上

⇒ 幹線輸送における異業種との共同輸送、メーカー・卸間における車輛の共同活用

今後の取組の方向性 (各主体の役割)

▶ 荷主・運送事業者

- ・ ボトルネック解消に向け、発荷主・着荷主・運送事業者が協議を行い、課題解決に向けた取組が必要
- ・ ガイドラインの内容を物流担当に留めることなく社内の他部署・末端の現場まで、施策の推進を徹底

▶ 業界団体

- ・ ガイドラインの取組みを、各業界団体のルールとして関係者に共有し、継続的にガイドラインに沿った取組みの進捗状況をフォローアップ

